

# 港湾整備事業の費用便益比(B / C)総点検結果について

平成23年2月14日  
中部地方整備局 港湾空港部

# 平成23年度予算に向けた個別公共事業評価及び総点検の実施

## 総点検 経緯

国土交通省においては、将来交通需要推計の改善策を検討するため「将来交通需要推計手法検討会議」を設置し検討を進めており、平成22年8月には当該会議での検討結果をとりまとめた「将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】」を公表

## 総点検 経緯

国土交通省全体の取組として、事業評価の前提となる需要推計手法の課題を検証し、改善策を検討するとともに、平成23年度予算要求事業についてB/Cの総点検を実施し、B/Cが1.0以上であることを確認。B/Cが1.0未満の場合は、再評価を実施

国土交通省における事業評価の改善の一環として、港湾整備事業について、「総点検」等を実施



将来交通需要推計手法の改善を踏まえた「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」における港湾取扱貨物量の見通しの点検



港湾利用者への再調査を踏まえた平成23年度予算に関する個別公共事業（直轄事業）のB/Cの総点検

港湾利用者の将来利用見込みの再調査により、推計を実施した上で、B/Cを総点検

# 総点検

## 総点検 結果公表（平成22年11月19日）

**「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」における取扱貨物量の需要推計手法を改善した。**

「基本方針」は国の港湾行政の指針となっており、基本方針の中に港湾取扱貨物量の見通しが示されている。  
港湾管理者が策定する港湾計画は、港湾法により「基本方針」に適合しなければならないとされている。

### 【内貿複合一貫輸送】

現行の基本方針における見通し(注1)		第一段階の改善を踏まえた見通し(注2)	
2015年	2020年	2015年	2020年
11億3000～ 11億7000万 フレートトン	11億4000～ 11億9000万 フレートトン	9億7000万 フレートトン	9億8000万 フレートトン

(注1) 現行の基本方針の見通しに幅があるのは、ハイケース、ローケースを設定しているため

(注2) 総点検の結果等を踏まえた需要予測値を基本方針に反映

### 【中間とりまとめにおける主な改善内容】

#### 1. 将来フレーム・入力値の統一

【人口】国立社会保障・人口問題研究所の中位推計の最新値

【GDP】最新の実質GDPの政府見通しに、直近10年間の実質GDPの平均変化量を加算して予測。平成42年以降は一定値に設定

#### 2. 生成交通量推計モデルの改善

・推計時の貨物の品目分けを10品目に統一

・国内生産額・輸入額については、GDPを説明変数とした推計モデルで算出

・輸送量については、国内生産額・輸入額を説明変数とした推計モデルで算出

# 総点検

## 総点検 結果公表（平成23年2月1日）

便益の点検を全国で実施し、以下の通り結果を取りまとめた。

< 点検の視点 >

港湾利用者の将来利用見込みの再調査により、推計を実施した上で、B/Cを総点検。

### 港湾・海岸事業(直轄事業)

	B/C < 1	B/C 1	計
中部地整 (港湾・海岸)	0	1 1	1 1